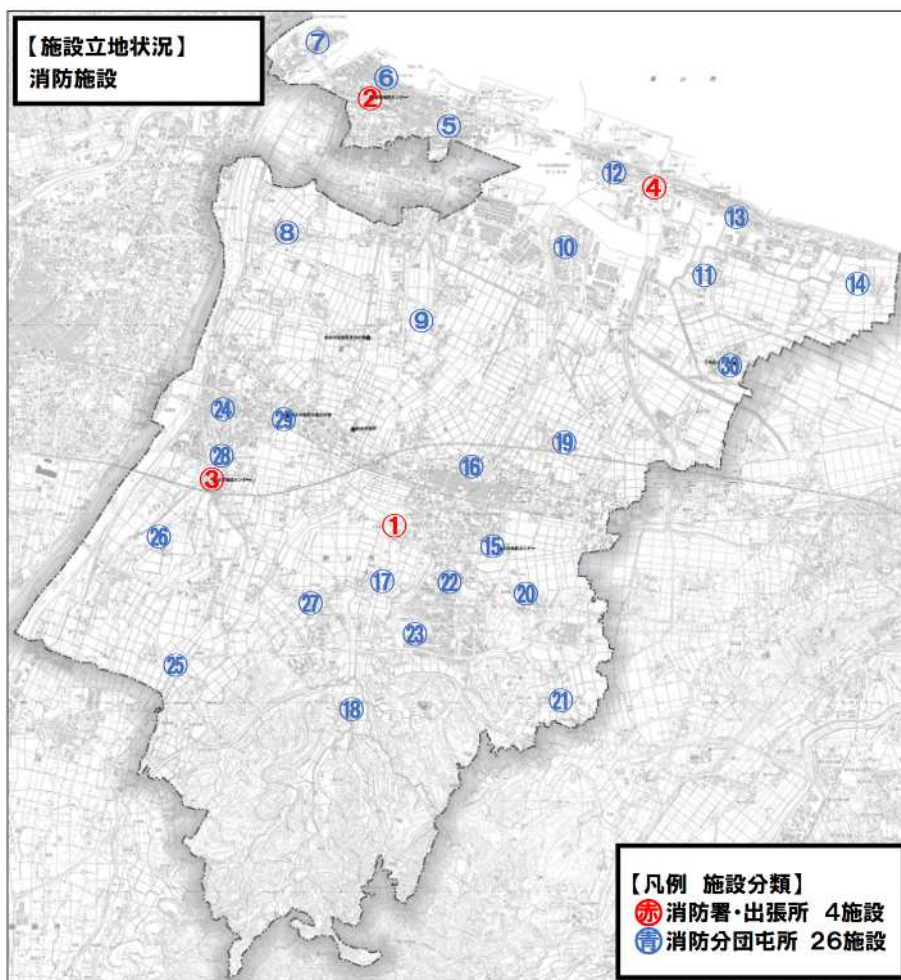


(2) 消防施設

大分類	小分類	対象施設
行政系 (37)	消防署(4)	射水消防署、新湊消防署、射水消防署大門出張所、 新湊消防署東部出張所
	消防分団屯所(26)	放生津、新湊、庄西、塚原、作道、片口、七美、堀岡、海老江、 本江、戸破、三ヶ、橋下条、金山、大江、黒河、池多、太閤山、 中・南太閤山、大門、櫛田、浅井、水戸田、二口、大島、下

配置状況



【消防署・出張所】

- 射水消防署
- 新湊消防署
- 射水消防署大門出張所
- 射水消防署東部出張所

【消防分団屯所】

- 射水市消防団放生津分団屯所
- 射水市消防団新湊分団屯所
- 射水市消防団庄西分団屯所
- 射水市消防団塚原分団屯所
- 射水市消防団作道分団屯所
- 射水市消防団片口分団屯所
- 射水市消防団七美分団屯所
- 射水市消防団堀岡分団屯所
- 射水市消防団海老江分団屯所
- 射水市消防団本江分団屯所
- 射水市消防団戸破分団屯所
- 射水市消防団三ヶ分団屯所
- 射水市消防団橋下条分団屯所
- 射水市消防団金山分団屯所
- 射水市消防団大江分団屯所
- 射水市消防団黒河分団屯所
- 射水市消防団池多分団屯所
- 射水市消防団太閤山分団屯所
- 射水市消防団  
中・南太閤山分団屯所
- 射水市消防団大門分団屯所
- 射水市消防団櫛田分団屯所
- 射水市消防団浅井分団屯所
- 射水市消防団水戸田分団屯所
- 射水市消防団二口分団屯所
- 射水市消防団大島分団屯所
- 射水市消防団下分団屯所

施設の役割

・消防署・出張所

常備消防施設である消防署・出張所は、非常備消防施設である消防団屯所とともに、地域の防災拠点となる施設です。

消防署・出張所では、火災出動をはじめ、救助出動、警戒出動、救急出動など日々の市民生活における緊急事態に 24 時間体制で対応するため、施設は常に稼働・機能しています。

また、大地震や水害などの大規模災害が発生した際には、災害活動の拠点として、基幹的な役割を果たします。

消防署・出張所は、各種災害から市民の生命・身体・財産を守るため、必要不可欠な施設であり、現在の消防力を確保・向上していく必要があります。

・消防分団屯所

市内 26 か所の消防分団屯所は、地域防災の要となる施設であり、災害発生時には消防団員の活動拠点としての役割を果たします。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等(着工年度)
1	射水消防署	敷地・地盤	B	・アスファルト舗装の一部に段差がある。 ・屋上面の防水層に膨れやひび割れがある。	
		外部	A		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
2	新湊消防署	敷地・地盤	A	・屋上面の防水層一部にひび割れがある。	
		外部	A		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
3	射水消防署 大門出張所	敷地・地盤	A	・屋上面の防水層に膨れがある。	
		外部	A		
		屋上・屋根	B		
		内部	A		
4	新湊消防署 東部出張所	敷地・地盤	A		・屋上防水改修工事(H27) ・大規模改修工事(H30)
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
5	消防団放生 津分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
6	消防団新湊分団屯所	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁タイル貼りや石貼りに剥がれがある。</li> <li>・外壁塗装や吹付けに剥がれや浮きがある。</li> </ul>	
		外部	B		
		屋上・屋根	A		
		内部	B		
7	消防団庄西分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
8	消防団塚原分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
9	消防団作道分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
10	消防団片口分団屯所	敷地・地盤	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスファルト舗装の一部にひび割れがある。</li> <li>・外壁表面にひび割れ、欠損がある。</li> <li>・外壁面から室内に雨漏りがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャッター取替工事(H19)</li> <li>・屋上防水改修工事(H30)</li> </ul>
		外部	C		
		屋上・屋根	A		
		内部	D		
11	消防団七美分団屯所	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁表面にひび割れや塗装吹付けに浮きがある。</li> <li>・屋上面の防水層に膨れがある。</li> <li>・内壁の表面にひび割れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車庫棟増築工事及び和室部分改修工事(H13)</li> </ul>
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
12	消防団堀岡分団屯所	敷地・地盤	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁表面の部分的にひび割れがある。</li> <li>・部分的に屋上面の防水層に膨れや破れ等がある。</li> <li>・内壁の一部に欠損やひび割れ、雨漏り跡がある。</li> </ul>	
		外部	B		
		屋上・屋根	B		
		内部	B		
13	消防団海老江分団屯所	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
14	消防団本江分団屯所	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模改修工事(R1)</li> </ul>
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）	
15	消防団戸破分団屯所	敷地・地盤	A	・基礎の一部にひび割れがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	A			
		内部	B			・壁面ボードの一部にひび割れがある。
16	消防団三ヶ分団屯所	敷地・地盤	A	・外壁のごく一部にひび割れがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
17	消防団橋下条分団屯所	敷地・地盤	A			
		外部	A			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
18	消防団金山分団屯所	敷地・地盤	A	・外壁の表面ごく一部にひび割れがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	A			
		内部	B			・内壁の表面ごく一部にひび割れがある。
19	消防団大江分団屯所	敷地・地盤	A			
		外部	A			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
20	消防団黒河分団屯所	敷地・地盤	A			
		外部	A			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
21	消防団池多分団屯所	敷地・地盤	A	・基礎のごく一部に剥がれがある。 ・外壁の表面ごく一部に著しい錆びがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	A			
		内部	B			・天井、内壁にひび割れがある。
22	消防団太閤山分団屯所	敷地・地盤	A			
		外部	A			
		屋上・屋根	A			
		内部	A			
23	消防団中・南太閤山分団屯所	敷地・地盤	A	・外壁改修工事(H29)		
		外部	A			
		屋上・屋根	B			・屋根材に錆びや損傷がある。
		内部	A			
24	消防団大門分団屯所	敷地・地盤	A	・軒裏の石貼りに剥がれがある。 ・屋上面の防水層に部分的にひび割れがある。 ・内壁モルタル壁表面にひび割れがある。		
		外部	B			
		屋上・屋根	B			
		内部	B			

	施設名	老朽化状況		主な工事等（着工年度）
			特記事項	
25	消防団櫛田分団屯所	敷地・地盤	A	
		外部	A	
		屋上・屋根	A	
		内部	A	
26	消防団浅井分団屯所	敷地・地盤	A	
		外部	A	
		屋上・屋根	A	
		内部	A	
27	消防団水戸田分団屯所	敷地・地盤	B	・アスファルト舗装にひび割れやがある。
		外部	A	
		屋上・屋根	B	・屋根材に錆びや損傷がある。
		内部	B	・内壁の一部に雨漏り跡がある。
28	消防団二口分団屯所	敷地・地盤	A	
		外部	A	
		屋上・屋根	B	・屋根材に錆びや損傷がある。
		内部	A	
29	消防団大島分団屯所	敷地・地盤	A	
		外部	B	・外壁サイディング表面の一部に浮きや剥がれがある。
		屋上・屋根	A	
		内部	B	・天井の一部に雨漏りの跡がある。
30	消防団下分団屯所	敷地・地盤	A	
		外部	B	・外壁のタイル貼りの一部に剥がれがある。
		屋上・屋根	A	
		内部	A	

### 施設の課題と今後の方向性

#### ・消防署・出張所

建築後 35 年以上が経過していた東部出張所については、平成 30 年度の大規模改修により施設全般の長寿命化を実施するとともに、施設設備の更新を図りました。その他の 3 署所については、平成 16 年度から平成 20 年度に整備され、これまで不具合に対してのみ修繕対応してきたところですが、空調設備の不具合や屋上面の防水層に膨れやひび割れがあるなど、徐々に施設・設備の劣化が進んでいます。

今後も引き続き、現在の位置で災害時の活動拠点としての機能を十分に発揮させ、現状の施設を維持するためには、施設・設備の老朽化への対策を順次講じる必要があります。

#### ・消防分団屯所

消防分団屯所は、新耐震基準の適用（昭和 56 年 6 月）以前に建築された施設を優先的に建替・改修を実施していますが、その他の屯所については著しい不具合に対してのみ修繕対応しており、経過年数に比例し各所に経年劣化が見受けられます。今後は、建築後おおむね 40 年を経過し老朽化が著しい施設から計画的に整備を行います。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績（団員数は平成31年4月1日現在の数値）

	施設名	施設概要				実施時期	短期				
		年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)				
1	射水消防署	建築年度	平成16 (2004)	団員数	—	経過年数				築後20年	
		改修年度	—	維持管理費	49,154千円	取組内容	実施設計・空調設備更新				
		経過年数	17	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—						屋上	
消防本部総務課	延床面積	3,459.59㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	2百万円	50百万円			32	
3	射水消防署 大門出張所	建築年度	平成18 (2006)	団員数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	3,719千円	取組内容					
		経過年数	15	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—							
消防本部総務課	延床面積	575.74㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
2	新湊消防署	建築年度	平成20 (2008)	団員数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	16,163千円	取組内容					
		経過年数	13	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—						実施 空調設	
消防本部総務課	延床面積	2,487.82㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					38	
4	新湊消防署 東部出張所	建築年度	昭和54 (1979)	団員数	—	経過年数					
		改修年度	平成30 (2018)	維持管理費	2,868千円	改修後年数					
		経過年数	42	維持管理費/ 団員数	—	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—							
消防本部総務課	延床面積	587.02㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
10	消防団 片口分団屯所	建築年度	昭和51 (1976)	団員数	28人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	2,944千円	取組内容	大規模改修				
		経過年数	45	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
消防本部総務課	延床面積	105.51㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	22百万円					
11	消防団 七美分団屯所	建築年度	昭和54 (1979)	団員数	22人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	3,864千円	取組内容	実施設計・補修増築				
		経過年数	42	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
消防本部総務課	延床面積	84.28㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	1百万円	33百万円				
28	消防団 二口分団屯所	建築年度	昭和63 (1988)	団員数	24人	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	4,239千円	取組内容	実施設計・移転改修				
		経過年数	33	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						解体・ 借地返還	
消防本部総務課	延床面積	130.64㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	1百万円	23百万円	4百万円			

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
防水								施設設備の修繕を行い、長寿命化を図る。
百万円								
築後20年								施設設備の修繕を行い、長寿命化を図る。
屋上防水								
15百万円								
		築後20年						施設設備の修繕を行い、長寿命化を図る。
設計・備更新		屋上防水						
百万円		23百万円						
			築後50年 耐用年数					平成30年度に長寿命化に向けた大規模改修工事を実施。引き続き予防修繕に努める。
		改修後10年						
築後50年								令和3年に大規模改修工事を実施後、長寿命化に向け予防修繕に努める。
			築後50年					七美コミセン解体に合わせ、屯所部分について補修・増築を行い、長寿命化を図る。
		築後40年						現屯所の前面道路は道幅が狭く一方通行道路であることから支障を来しており、また敷地も借地である。円滑な活動を行うためにも市有地（旧大門庁舎車庫棟）に早期に機能を移転する。

射水市公共施設個別施設計画

施設名	施設概要				実施時期	短期					
	年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
6 新湊分団屯所	建築年度	昭和56 (1981)	団員数	26人	経過年数	築後40年	耐用年数				
	改修年度	—	維持管理費	2,261千円	取組内容	実施設計・移転建替	解体				
	経過年数	40	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	105.90㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	57百万円	4百万円			
12 堀岡分団屯所	建築年度	昭和55 (1980)	団員数	28人	経過年数	耐用年数					
	改修年度	—	維持管理費	2,717千円	取組内容	実施設計・ 大規模改修又は建替					
	経過年数	41	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	150.39㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	43百万円 (改修の場合)	63百万円 (建替の場合)			
21 池多分団屯所	建築年度	昭和59 (1984)	団員数	16人	経過年数				築後40年		
	改修年度	—	維持管理費	2,026千円	取組内容	実施設計・ 大規模改修又は建替					
	経過年数	37	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	97.20㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	29百万円 (改修の場合)	63百万円			
24 大門分団屯所	建築年度	昭和59 (1984)	団員数	34人	経過年数				築後40年	耐用年数	
	改修年度	—	維持管理費	3,498千円	取組内容	実施 大規模改修					
	経過年数	37	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	270.13㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	77百万円 (改修の場合)				
29 大島分団屯所	建築年度	平成1 (1989)	団員数	28人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	2,747千円	取組内容						
	経過年数	32	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	136.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					39百万円
26 浅井分団屯所	建築年度	平成1 (1989)	団員数	40人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	3,000千円	取組内容						
	経過年数	32	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	124.80㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
18 金山分団屯所	建築年度	昭和62 (1987)	団員数	16人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	2,400千円	取組内容						
	経過年数	34	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	140.34㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
15 戸破分団屯所	建築年度	平成2 (1990)	団員数	22人	経過年数	耐用年数					
	改修年度	—	維持管理費	2,653千円	取組内容						
	経過年数	31	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	139.12㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					



中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
					築後50年			令和4、5年度に移転建替えを実施し、令和6年度に現在の屯所を解体予定
				築後50年				整備方法について協議する。
								予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
(建替の場合)								
設計・ 又は建替								予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
63百万円（建替の場合）								
			築後40年					予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
実施設計・ 大規模改修又は建替								
(改修の場合) 63百万円（建替の場合）								
			築後40年					予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
実施設計・ 大規模改修又は建替								
36百万円（改修の場合） 63百万円（建替の場合）								
	築後40年	耐用年数						予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
実施設計・ 大規模改修又は建替								
41百万円（改修の場合） 63百万円（建替の場合）								
				築後40年				予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
実施設計・ 大規模改修又は建替								
40百万円（改修の場合） 63百万円（建替の場合）								

施設名	施設概要					実施時期	短期				
	年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
25 消防団 櫛田分団屯所	建築年度	平成2 (1990)	団員数	29人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	2,436千円	取組内容						
	経過年数	31	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	112.60㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
27 消防団 水戸田分団 屯所	建築年度	平成3 (1991)	団員数	25人	経過年数	築後30年	耐用年数				
	改修年度	—	維持管理費	2,326千円	取組内容						
	経過年数	30	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	107.55㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
16 消防団 三ヶ分団屯所	建築年度	平成5 (1993)	団員数	17人	経過年数		築後30年	耐用年数			
	改修年度	—	維持管理費	2,135千円	取組内容						
	経過年数	28	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	140.25㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
30 消防団 下分団屯所	建築年度	平成6 (1994)	団員数	26人	経過年数				築後30年	耐用年数	
	改修年度	—	維持管理費	4,570千円	取組内容						
	経過年数	27	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	190.67㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
23 消防団 中・南太閤山 分団屯所	建築年度	平成9 (1997)	団員数	15人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	2,320千円	取組内容						
	経過年数	24	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	139.12㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
20 消防団 黒河分団屯所	建築年度	平成10 (1998)	団員数	23人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	4,267千円	取組内容						
	経過年数	23	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	144.78㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
17 消防団 橋下条分団 屯所	建築年度	平成16 (2004)	団員数	20人	経過年数				築後20年		
	改修年度	—	維持管理費	2,222千円	取組内容						
	経過年数	17	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	140.25㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
19 消防団 大江分団屯所	建築年度	平成18 (2006)	団員数	21人	経過年数						
	改修年度	—	維持管理費	2,527千円	取組内容						
	経過年数	15	維持管理費/ 団員数	—							
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
	消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
				築後40年				予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
				実施設計・大規模改修又は建替				
			33百万円（改修の場合）		63百万円（建替の場合）			
					築後40年			予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
				実施設計・大規模改修又は建替				
			31百万円（改修の場合）		63百万円（建替の場合）			
							築後40年	予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。
				実施設計・大規模改修又は建替				
			41百万円（改修の場合）		63百万円（建替の場合）			
								予防修繕に努めながら、整備方法について協議する。なお、実施設計・大規模改修又は建替は令和15年度及び令和16年度の2か年で実施。概算事業費は2か年の合計額
				実施設計・大規模改修又は建替				
			55百万円（改修の場合）		63百万円（建替の場合）			
	築後30年	耐用年数						
	築後20年							

施設名	施設概要				実施時期	短期				
	年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)				
8 消防団 塚原分団屯所	建築年度	平成21 (2009)	団員数	31人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	2,639千円	取組内容					
	経過年数	12	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				
13 消防団 海老江分団 屯所	建築年度	平成24 (2012)	団員数	28人	経過年数		築後10年			
	改修年度	—	維持管理費	2,642千円	取組内容					
	経過年数	9	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	143.48㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				
22 消防団 太閤山分団 屯所	建築年度	平成27 (2015)	団員数	19人	経過年数					築後10年
	改修年度	—	維持管理費	3,413千円	取組内容					
	経過年数	6	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				
5 消防団 放生津分団 屯所	建築年度	平成28 (2016)	団員数	27人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	2,612千円	取組内容					
	経過年数	5	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	143.26㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				
7 消防団 庄西分団屯所	建築年度	平成30 (2018)	団員数	24人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	2,229千円	取組内容					
	経過年数	3	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	145.74㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				
14 消防団 本江分団屯所	建築年度	昭和53 (1978)	団員数	22人	経過年数					
	改修年度	令和1 (2019)	維持管理費	1,999千円	改修後年数					
	経過年数	43	維持管理費/ 団員数	—	取組内容					
	構造/ 耐用年数	RC/41年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	113.70㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費				
9 消防団 作道分団屯所	建築年度	令和2 (2020)	団員数	34人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	2,882千円	取組内容	旧分団屯所 解体				
	経過年数	1	維持管理費/ 団員数	—						
	構造/ 耐用年数	W/22年	稼働率	—						
	消防本部総務課	延床面積	139.94㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	4百万円			

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見通し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
			築後20年					
						築後20年		
築後10年								
		築後10年						
		築後50年						
			改修後10年					
				築後10年				

